

續摺粟毛十編 下



^ 13  
3286  
38



門 13  
號 3286  
卷 38

嘉十六年一月十一日  
尾野貴英氏贈

本清

上ノ初草津瀆 膝栗毛十編 下冊

上毛の國草津八むくく 養老年中 行基はるる

のひらきめふ 湯山とくや 宜きま 湯付と 足取の 湯ふ

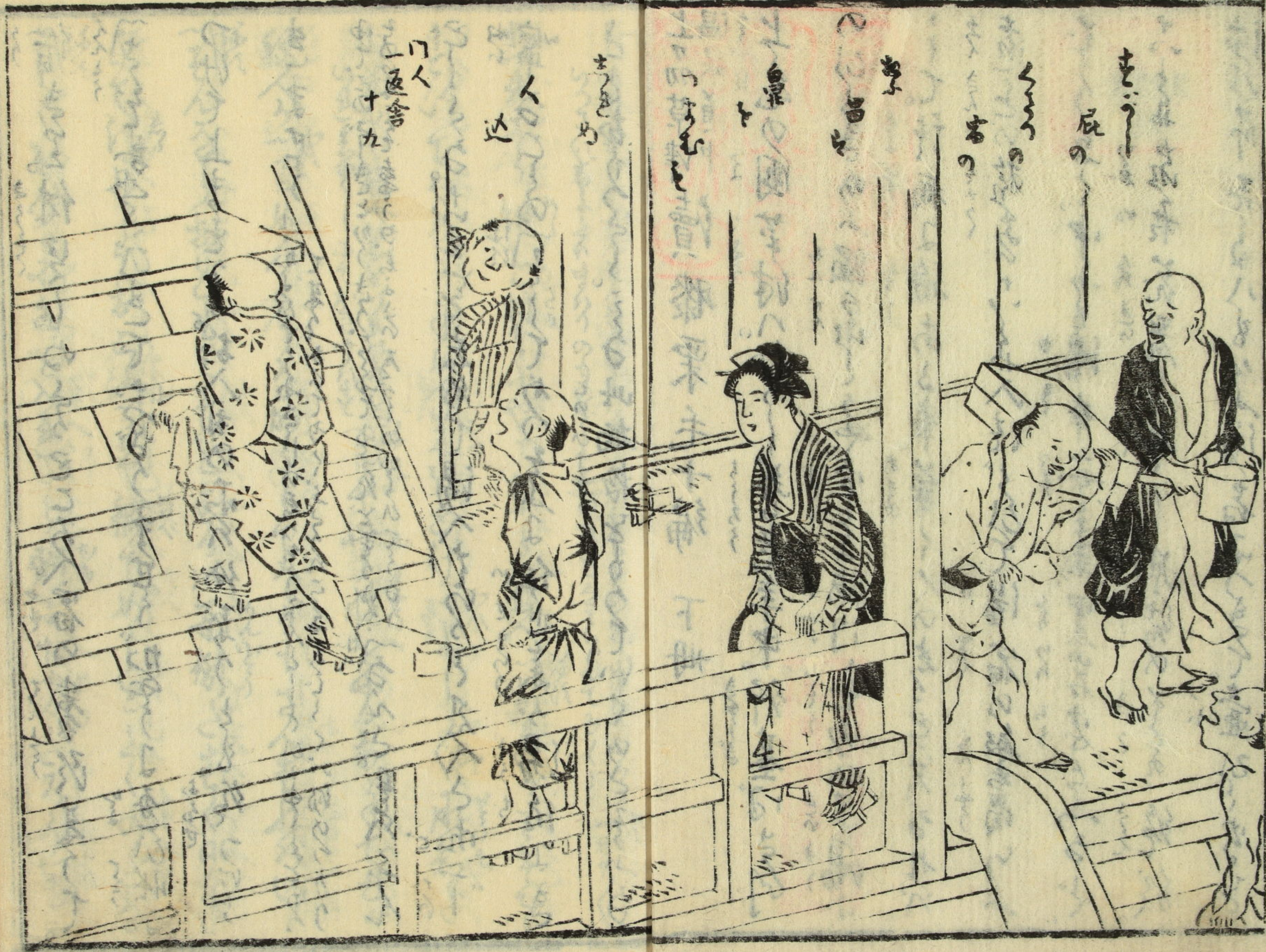
して 諸病は 驗ある 事 華く 人の 老く こと なる べし

遠近の 旅 あり しく 井入 法 ごとく 湯宿の 飯 湯り

むら あり 中 あり 湯 幸 女 妻 刺 甲 山 石 安 たる こと

十六 井 あり 花 野 あり こと あり 一 あり あり あり あり

沙 乃 師 あり あり あり あり あり あり あり あり あり



門人  
一返舎  
十九

人  
込  
まき  
ち

まき  
ち  
まき  
ち  
まき  
ち

まき  
ち  
まき  
ち  
まき  
ち

まき  
ち  
まき  
ち  
まき  
ち



いさくめしとさる移入く。そのら人でのりゆくか滅が  
まじ移入ひよると材きどとあるら。まうしが移入火火

でもえせむ。やうをうあうでらゆとあるまや

汁の安が移入のらんと買てまや。一四月らうとさう  
あらくあきん人

そのらよまぜくつまきと。お温純り人くつまんぢら

りぬさる。あんとろりちつ茶ごぞく汁のまふ。かんとり人

どあごまじとらふ。そのまよりう今夏麻布のらんと

まうけ一あがうげやく引くまきとくハイく

油場りゆもあけつらるら二三四中にもあゆらうよ

うろりまきとらふ買てまきとら下移入らうとま

りつこのびハイくもいゆりぐらうらとまきとどまきと

ひまらうおひまのめ。まきとらひるせ入のらゆ

ゆもまん。たまことらるゆりおまきと。そのら八とまきと細

あきらやいりまがらくチアニめんどうさ。あうらよは

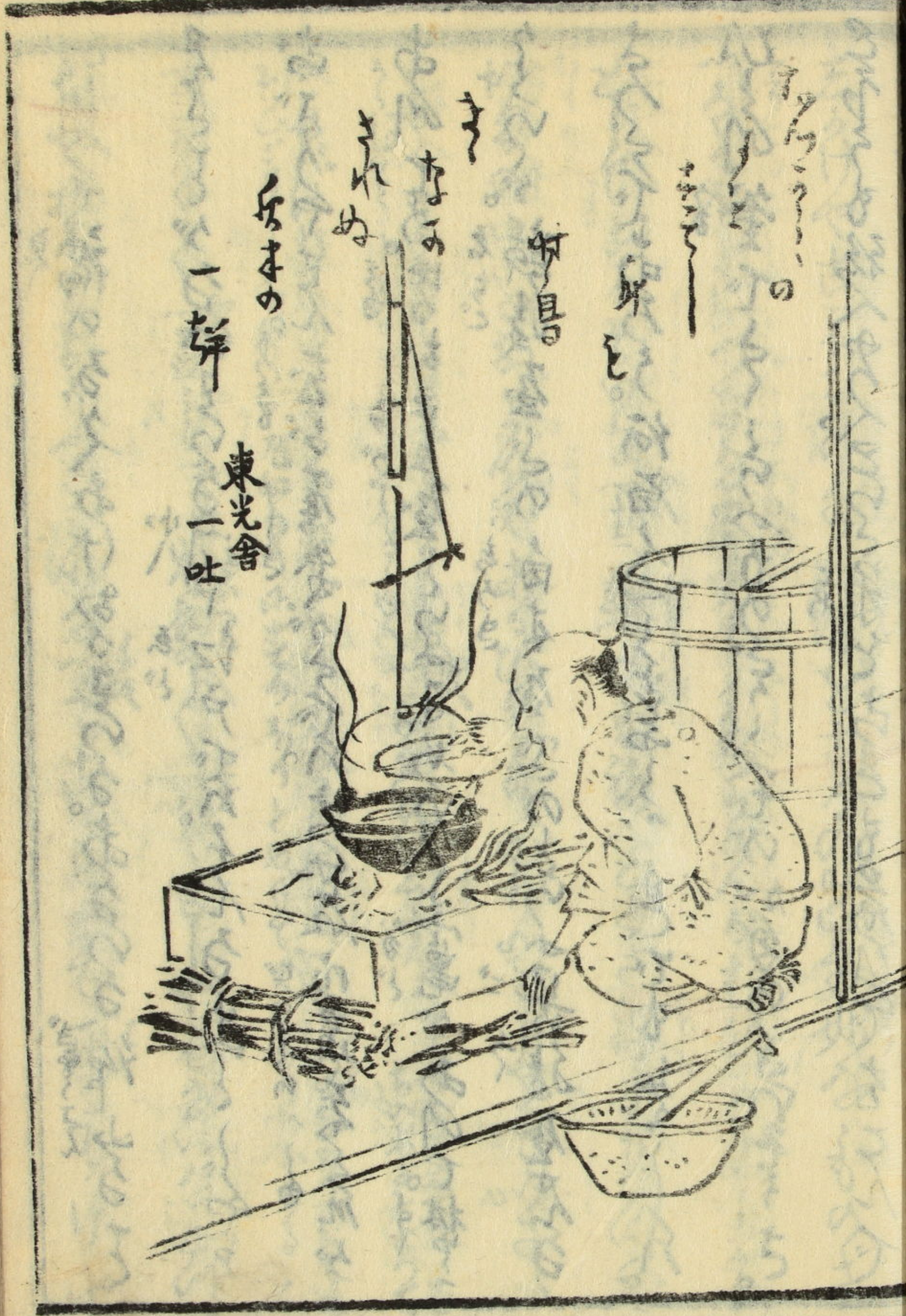
ま入まきとまきとあうらま入のら。細がまきとまきと

くそと入らまきとら。版のら入あがうげまきと

くそと入らまきとら。版のら入あがうげまきと

せんくつできり移入る。さうしびふくろむせびあひしびのきふ  
ちうめくふろくことせびふその端入けをきうけあや  
るる移入る。版のおもふ人。其終をふんまけてきふ人  
ひくくイヤサマキマキ移入おをまきし終をうけよるうて  
わうア。端はきん。ちうろくとあひてらんきんアイトらん  
よとせ。コキヤあくものが移入。今まことあうちうあんど  
まぶし移入のびごう。ちうまじでふふうアットすくく  
ドしおしとらうきふ。くちのりんはまきり移入あふが  
おんまうととくくまう。見るとせ入あうかんる。まう  
くろよるうて。端入とげうてままう。アリキサび  
まうひて。まふあうらうまじめ入うらうまう。ま  
ふよそのりてうらうアイトサマキマキアけをあうことか  
らう移入。アまうよまの摺紙を火へかけて。きふお  
まじまじけを考夫アうらうらうらう。ち瓶で茶を  
あうおあうア。アまう。まの摺紙を火へかけて。きふお  
らうまじまじけ。マ味あがまう。まうて移入のアイト







ひとつく。襦あひのる久あひあけある日あひのる。あかあひのるあひ作あひと

片あひごとくがわりあひのるあひ川あひ江あひ戸あひであひ。そんあひるあひやあひ、くあひやあひ

おあひごあひうあひやあひせんあひまあひおあひ尾あひ安あひぶあひぐあひとあひどあひりあひ。ちあひせあひんあひ由あひ家あひまあひるあひ風あひが

ああひりあひてあひもあひ。はあひるあひおあひまあひまあひをあひとあひらあひよあひよあひ。めあひらあひくあひ、定あひ電あひがあひああひりあひてあひ林あひ、

くあひらあひがあひ。藝あひ後あひ五あひのあひ。白あひ本あひをあひぶあひのあひ。くあひらあひのあひ。景あひ後あひをあひる

まあひろあひくあひであひああひらあひうあひ。何あひ百あひ人あひくあひらあひまあひああひらあひ。そあひをあひとあひもあひまあひくあひらあひ。

ひあひのあひ。筆あひであひくあひらあひひあひのあひ。びあひらあひうあひ。そあひのあひかあひめあひのあひ。くあひらあひまあひらあひ。

とあひああひらあひもあひ移あひ入あひりあひ入あひ。さあひらあひひあひのあひまあひとあひまあひしあひもあひああひひあひであひまあひとあひんあひで

まあひのあひけあひやあひせあひとあひうあひ。そあひのあひ。後あひ時あひ減あひとあひまあひるあひのあひがあひ。まあひ妙あひのあひものあひと

くあひらあひるあひどあひ。かあひつあひまあひるあひるあひまあひさあひらあひうあひらあひんあひがあひむあひりあひくあひらあひらあひ。

てあひとあひまあひるあひどあひのあひ。日あひ。雜あひ信あひもあひ移あひ入あひとあひまあひ。得あひ、まあひらあひくあひて

かあひのあひ中あひとあひ。まあひよあひんあひであひああひらあひひあひてあひ。ああひかあひんあひをあひしあひまあひらあひるあひ。

たあひらあひくあひらあひなあひるあひ。めあひらあひくあひらあひるあひ。まあひらあひくあひらあひるあひ。一あひ。まあひらあひくあひらあひるあひ。

まあひらあひくあひらあひなあひるあひ。まあひらあひくあひらあひるあひ。まあひらあひくあひらあひるあひ。まあひらあひくあひらあひるあひ。

まあひらあひくあひらあひなあひるあひ。まあひらあひくあひらあひるあひ。まあひらあひくあひらあひるあひ。まあひらあひくあひらあひるあひ。

まあひらあひくあひらあひなあひるあひ。まあひらあひくあひらあひるあひ。まあひらあひくあひらあひるあひ。まあひらあひくあひらあひるあひ。



あつて見物して湯宿にあら。体はとろろち。津に帝  
じやうぎ  
ひあふゆきくが若むくくして産種ふ久里司しやくくよ  
め人あもてせいらつ。今あつて。あり。ろへかのとせて  
まごひつるゆとくしやくヤたのまは入まし白ふ。ちくく  
んさこいゆ。自増のおどるやめよしやく日しがまふくくしやくあつてが  
今との雪陣まつちへらら。そのかあつてのまはちんぶ。うの  
そひめが。いふやうてめあつてどまきうのたまりの  
り板小は所かりあまがあらうふくとつぎ配ひてたさう。とさふが  
大さの尻しつをひんまうゆとあが。うしろのちうう。志れお  
鼻はなのさゆ入。正面せいめん不見る。とあかのざう。あつてわかし  
うへとあもらしむと入紙し。いふとてまうまふ。うま  
あつてら入て。そのちうあつてうまのと出して。おしとの  
こひきたをちよんくくつら。橋はし通つてをえ。イヤセ  
好きよとつがとち入とさう。まのうとう入かう復へん放て。まうく  
かけあつてらまやうがうとらびうてたふあつてうま  
耳みみのちのわあつてらうらうらう。あつてもまをやりとら

あつて見物して湯宿にあら。体はとろろち。津に帝  
じやうぎ  
ひあふゆきくが若むくくして産種ふ久里司しやくくよ  
め人あもてせいらつ。今あつて。あり。ろへかのとせて  
まごひつるゆとくしやくヤたのまは入まし白ふ。ちくく  
んさこいゆ。自増のおどるやめよしやく日しがまふくくしやくあつてが  
今との雪陣まつちへらら。そのかあつてのまはちんぶ。うの  
そひめが。いふやうてめあつてどまきうのたまりの  
り板小は所かりあまがあらうふくとつぎ配ひてたさう。とさふが  
大さの尻しつをひんまうゆとあが。うしろのちうう。志れお  
鼻はなのさゆ入。正面せいめん不見る。とあかのざう。あつてわかし  
うへとあもらしむと入紙し。いふとてまうまふ。うま  
あつてら入て。そのちうあつてうまのと出して。おしとの  
こひきたをちよんくくつら。橋はし通つてをえ。イヤセ  
好きよとつがとち入とさう。まのうとう入かう復へん放て。まうく  
かけあつてらまやうがうとらびうてたふあつてうま  
耳みみのちのわあつてらうらうらう。あつてもまをやりとら

ゆるまる

トけりてや。その日はくるとあるが。...

このよき。その夜の入りては。はるの人あり。...

津島。津島。津島。津島。津島。津島。...

按ての島。そむるの洋。ひまもさく。...

少。三休後の。おく。ほく。ほく。ほく。...

ふん。野のさうの。お。お。お。お。お。...

さ。白。白。白。白。白。白。白。白。...

り。よ。よ。よ。よ。よ。よ。よ。よ。...

お。め。め。め。め。め。め。め。め。...

あ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。...

ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。...

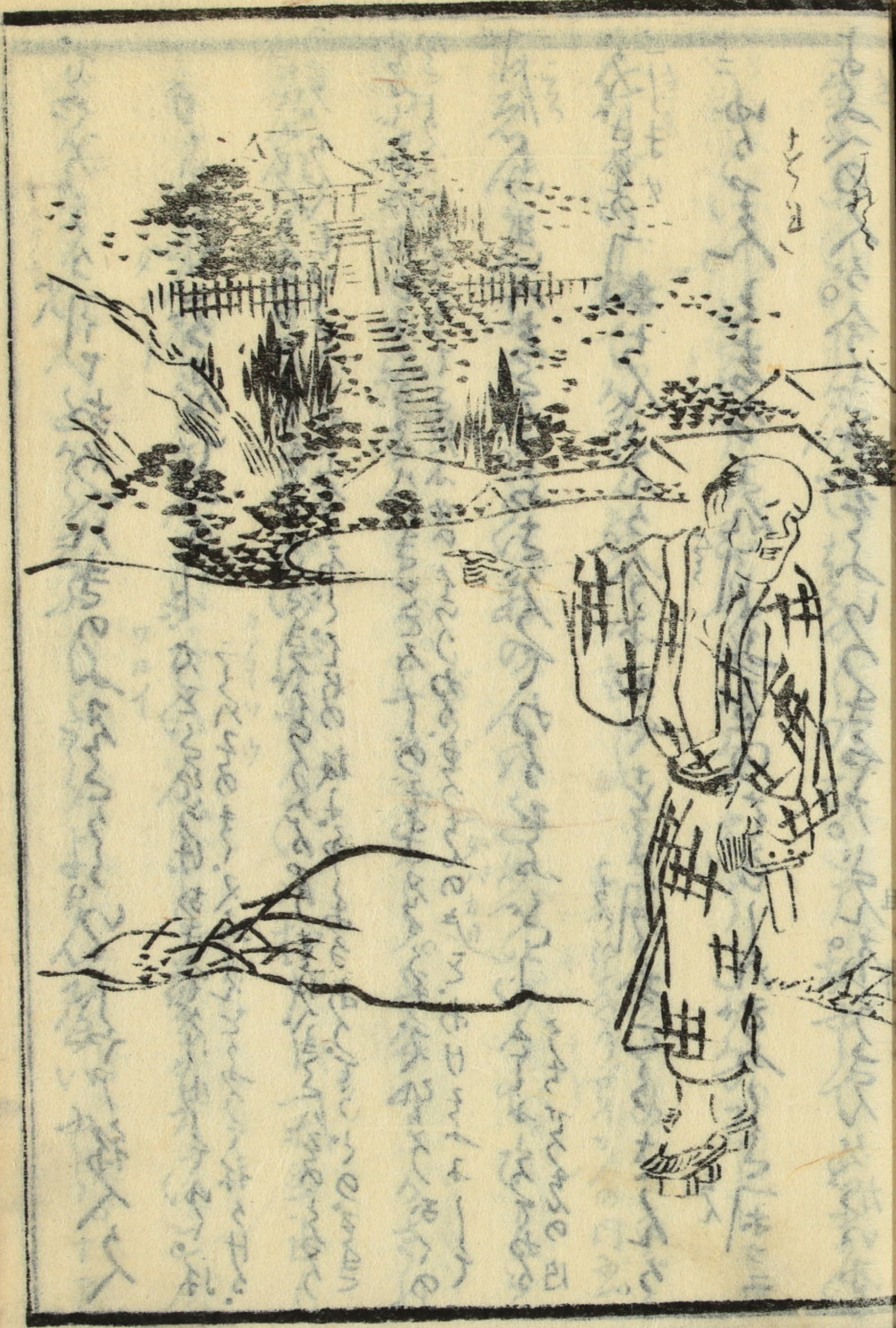
つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。つ。...

ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。...

あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。...

あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。...

大。大。大。大。大。大。大。大。...



桐屋の  
かきかて  
あふひを  
洋むく  
雪佳事  
一作

金むく

あふ

あふせ

あふ

あふ

あふ

あふ

てやろらうりルハ「イヤあめへハまきのふんをさうらう。ワトヤア移入久

「さハあおし」がアアてらう。ト大とさるうけあまて、クけ出してゆく。は  
アハそのまき。又おとんとくうて移りける。

三とハロウちへハカマキアをねん。女のまき入をうりかたアアはあへまきハをみとさう  
のせろちや。もつてまねをさるわどいりの板。あアあるあアてうどのまき

見ろいけのあめあてまきハのまきところし。のまきあをうりまアひとく。かくの  
かこよう。女まきアアて。まきハ女のまきうりかた。まきあんの戸を。あけまきハ

「トイ」まつまハまきうり。あまきうりてわろまきうり。トこしハとろてわろ  
うちせろまきの内

おん。まきの「おちんさんう。今うお出やまきよ」チ「お」おらうさんう。

十二「ゆりま」とまきうり。まきうりまきのまきうりまきうり。トちん「お」三

よふべの人が。今まきうりまきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま

まきあいのまきうり。まきうりまきうり。まきうりまきうり。トま「お」ま







きつてあつやと。イヤをやカネをい画面目次もこぶうやせぬ

いころまぬくくぬ。サアやろめ。出てうせちやア上コレサ

あつとるくハとつらア。さうまいあうく。あましが

いあつてあやア。まんどさうま猪松めくど。こつちやア

まゆもくもあどろ子ぶぞ。神田のえいごひ下橋まてうぢうぶやア

ちうとやれとなぐりて入男ぶあこちぶめべいせい

あうまあまじもまぶる濱川の馬市むのいちぶやア。たこいぬこと

のるいあとしま一上まうちのちりのけまんでくままていままままままま

このままにまはつとるめとまかーままハのまとまくまうり。まゆままそまゆま

あつてのままにまつまのけままハとつてまいまうまうとまらつてまいまらう

いれあまぬのおつとらう。そのやろめハぶまらりてまい

まぬまア人のまれうまりうまてぬまらまこまらまとまのまままやア

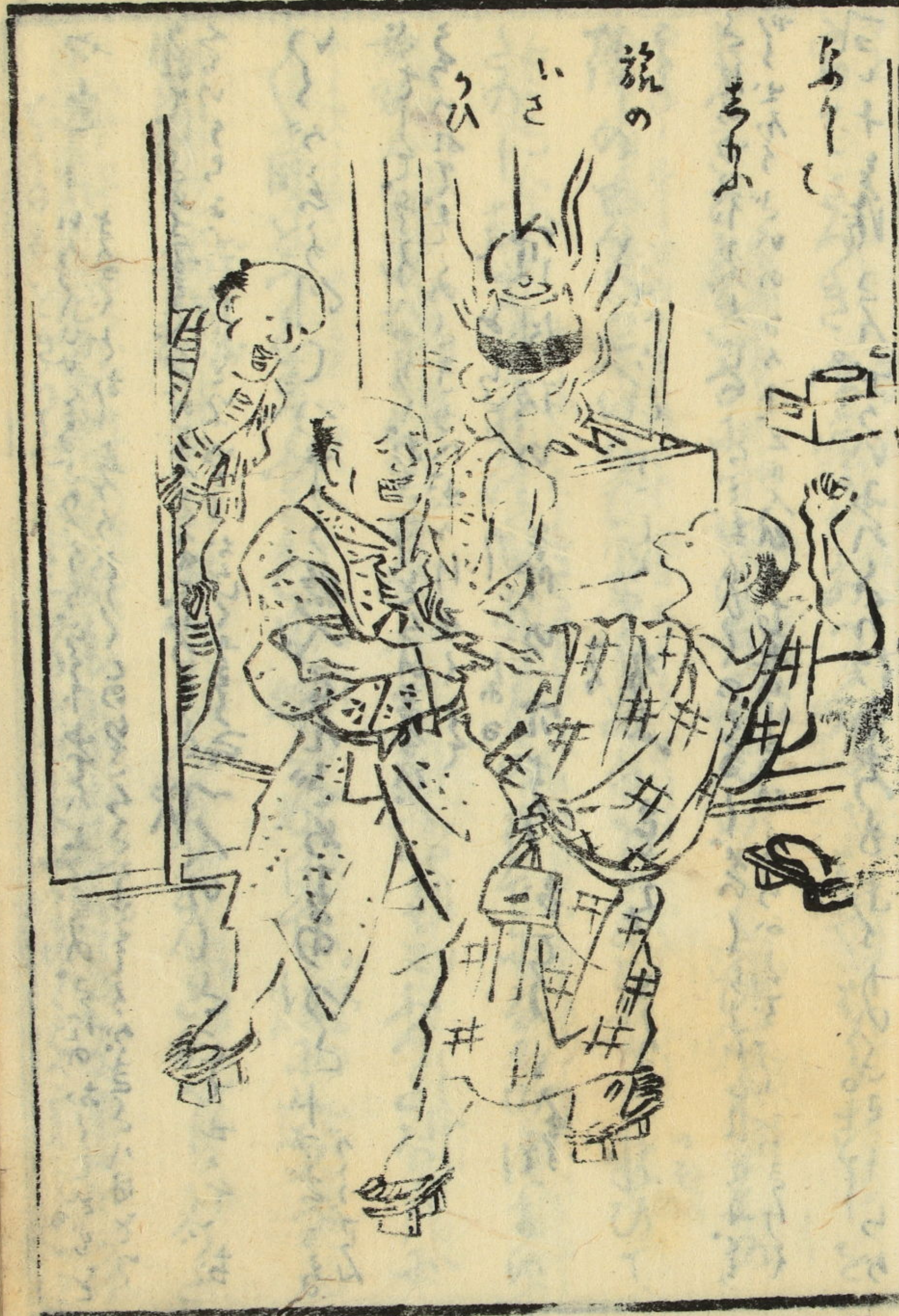
ぐうと入まま。まんのまあまのま取まゆまてま家まらまうま。ままのま尻まと

つまままアまぐまんまむまくまけまままりまふまつまいまらまかまつまぶまやア

後ま入まままのま人まままコまコまくまらまんまごまとまりま入ま入ま人まままをま

かまつまてまアまるまぬまらまぬまままちまぐまひまかまいまちまやまアまつまくまくま

あまんまかましまアまるまるまてまえまるませまんまこまらまらまるま麻までまごまごまんま











酒の  
一  
十



一生  
の  
人  
の  
ま  
の  
ま







ある人づら。このあつちからうらな。ごまじであん

な。ごまじのこまじ。まじらひまじらひ。トマじらひあひまじらひ

れく。ごまじのあひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

ごまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ。あひまじらひ

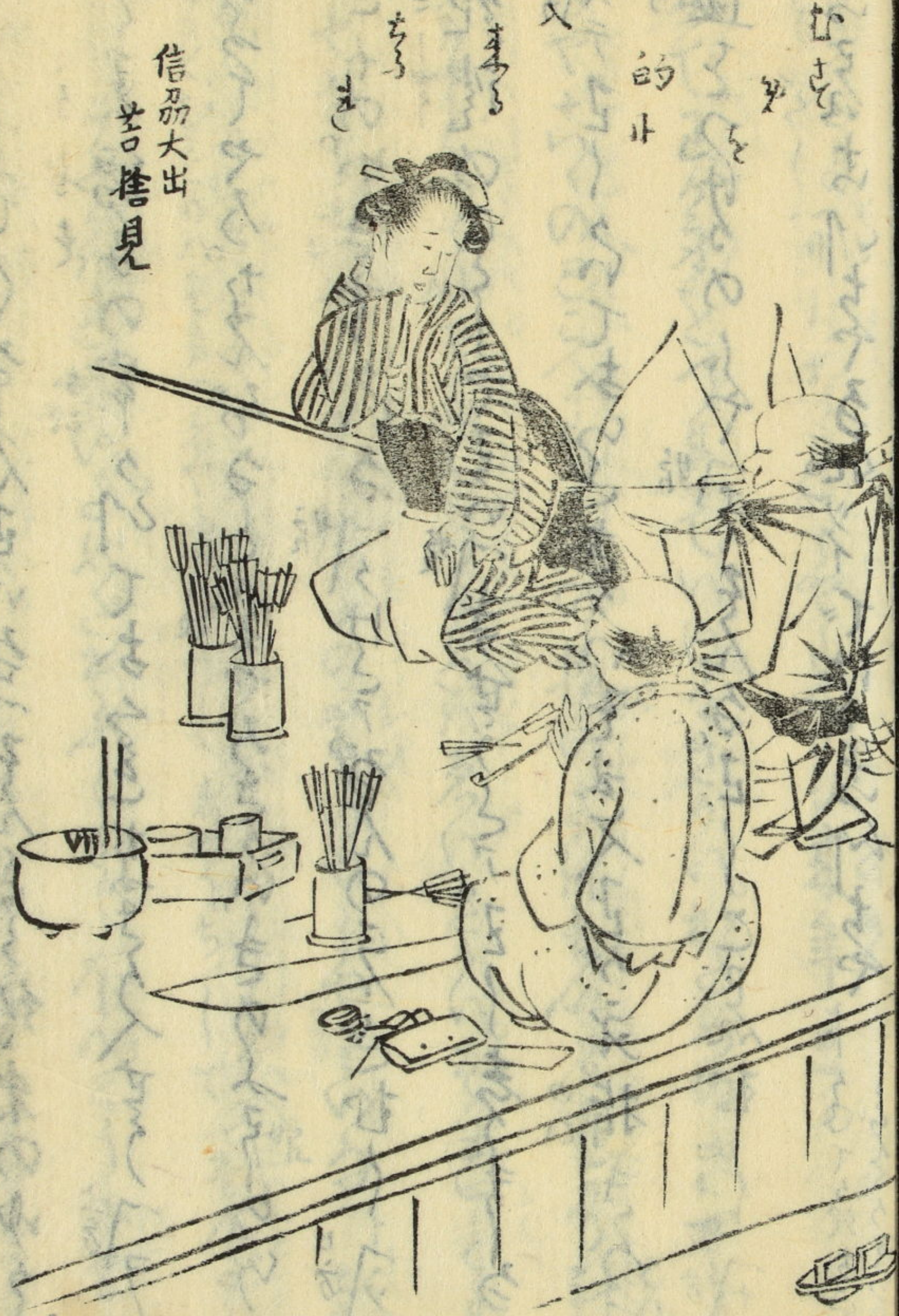
ういづも諸人の。また男さううつきてみるもこんた  
ふうとーても軽々々<sup>さきまう</sup>な<sup>さ</sup>修<sup>しゆ</sup>ふ<sup>ふ</sup>ある<sup>ある</sup>ま<sup>ま</sup>や<sup>や</sup>と<sup>と</sup>り<sup>り</sup>も<sup>も</sup>金<sup>かね</sup>も  
そえる<sup>そ</sup>る<sup>る</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>へ<sup>へ</sup>い<sup>い</sup>り<sup>り</sup>や<sup>や</sup>せ<sup>せ</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>が<sup>が</sup>。今<sup>こん</sup>度<sup>ど</sup>へ<sup>へ</sup>伊<sup>い</sup>執<sup>しつ</sup>カ<sup>か</sup>う<sup>う</sup>。と<sup>と</sup>ん<sup>ん</sup>ひ<sup>ひ</sup>り  
安<sup>あん</sup>執<sup>しつ</sup>云<sup>ん</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>信<sup>しん</sup>ま<sup>ま</sup>で<sup>で</sup>お<sup>お</sup>中<sup>ちゆう</sup>して<sup>して</sup>。そ<sup>そ</sup>こ<sup>こ</sup>う<sup>う</sup>。京<sup>きやう</sup>大<sup>だい</sup>坂<sup>さか</sup>乃<sup>の</sup>  
道<sup>みち</sup>も<sup>も</sup>子<sup>こ</sup>。か<sup>か</sup>り<sup>り</sup>ひ<sup>ひ</sup>の<sup>の</sup>外<sup>がい</sup>に<sup>に</sup>お<sup>お</sup>る<sup>る</sup>勢<sup>せい</sup>の<sup>の</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>も<sup>も</sup>。き<sup>き</sup>又<sup>また</sup>入<sup>い</sup>る<sup>る</sup>こ<sup>こ</sup>お  
つ<sup>つ</sup>う<sup>う</sup>い<sup>い</sup>や<sup>や</sup>も<sup>も</sup>う<sup>う</sup>い<sup>い</sup>る<sup>る</sup>こ<sup>こ</sup>に<sup>に</sup>め<sup>め</sup>を<sup>を</sup>念<sup>ねん</sup>仏<sup>ぶつ</sup>る<sup>る</sup>を<sup>を</sup>申<sup>まを</sup>。と<sup>と</sup>う<sup>う</sup>こ<sup>こ</sup>に<sup>に</sup>  
戸<sup>こ</sup>へ<sup>へ</sup>り<sup>り</sup>よ<sup>よ</sup>ま<sup>ま</sup>が<sup>が</sup>さ<sup>さ</sup>う<sup>う</sup>。や<sup>や</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>り<sup>り</sup>も<sup>も</sup>ーや<sup>や</sup>と<sup>と</sup>お<sup>お</sup>り<sup>り</sup>ち<sup>ち</sup>と<sup>と</sup>  
ふ<sup>ふ</sup>と<sup>と</sup>こ<sup>こ</sup>ろ<sup>ろ</sup>が<sup>が</sup>悔<sup>くわい</sup>しく<sup>く</sup>る<sup>る</sup>こ<sup>こ</sup>う<sup>う</sup>。室<sup>むろ</sup>の<sup>の</sup>お<sup>お</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>む<sup>む</sup>い<sup>い</sup>で

くもまのまへ  
あまこぶあま  
おんが子と。あまのまへに  
あびよまのいの子。作らぬうき  
まい。さく度あまも人物も用は  
おつよとこらあふさこふ。ハ  
のハちむま  
おりのとんゆうらふよら  
大群とあらて目をこも  
ういづも諸人の。また男さううつきてみるもこんた  
ふうとーても軽々々な修ふあるまやとりも金も  
そえるるゆへにいりやせぬが。今度へ伊執かう。とんひり  
安執云のま信までお中して。そこう。京大坂乃  
道も子。かりひの外におる勢のゆも。き又入るこお  
つういやもういりるこにめを念仏るを申。とうこに  
戸へりよまがさう。やぬりもーやとおりちと  
ふところ悔しくるこう。室のおまのむいで  
くもまのまへ  
あまこぶあま  
おんが子と。あまのまへに  
あびよまのいの子。作らぬうき  
まい。さく度あまも人物も用は  
おつよとこらあふさこふ。ハ  
のハちむま  
おりのとんゆうらふよら  
大群とあらて目をこも

移入ぞ。たぐのこごめめめめあげてまきりす。まのむきとめ  
 ここのるの肯<sup>ま</sup>う。牛のを移うまき移入が。そんまお  
 るまも。らのやどろくと。まやつとてまのま  
 ちやアあまら移入。わんのこつこが。あまアそんまこと  
 りんて。まらつてめう男ぶやア移入が。めつこまやア  
 移入。まこら移入。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
 イヤあまめめめめへく。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
 りんまも。まも。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
ト何ともしや  
ひるまも

ふうふうがらそのまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
 コレナ。あまらまらまら入。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
 移入の中ふまてまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
 うらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
 て。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
 りのまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
 らまらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
 入。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
 入。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。まらまら。  
ト何ともしや  
ひるまも

信乃大出  
苦捨見



揚の  
天の  
てし  
人  
の  
汗  
の  
し  
の

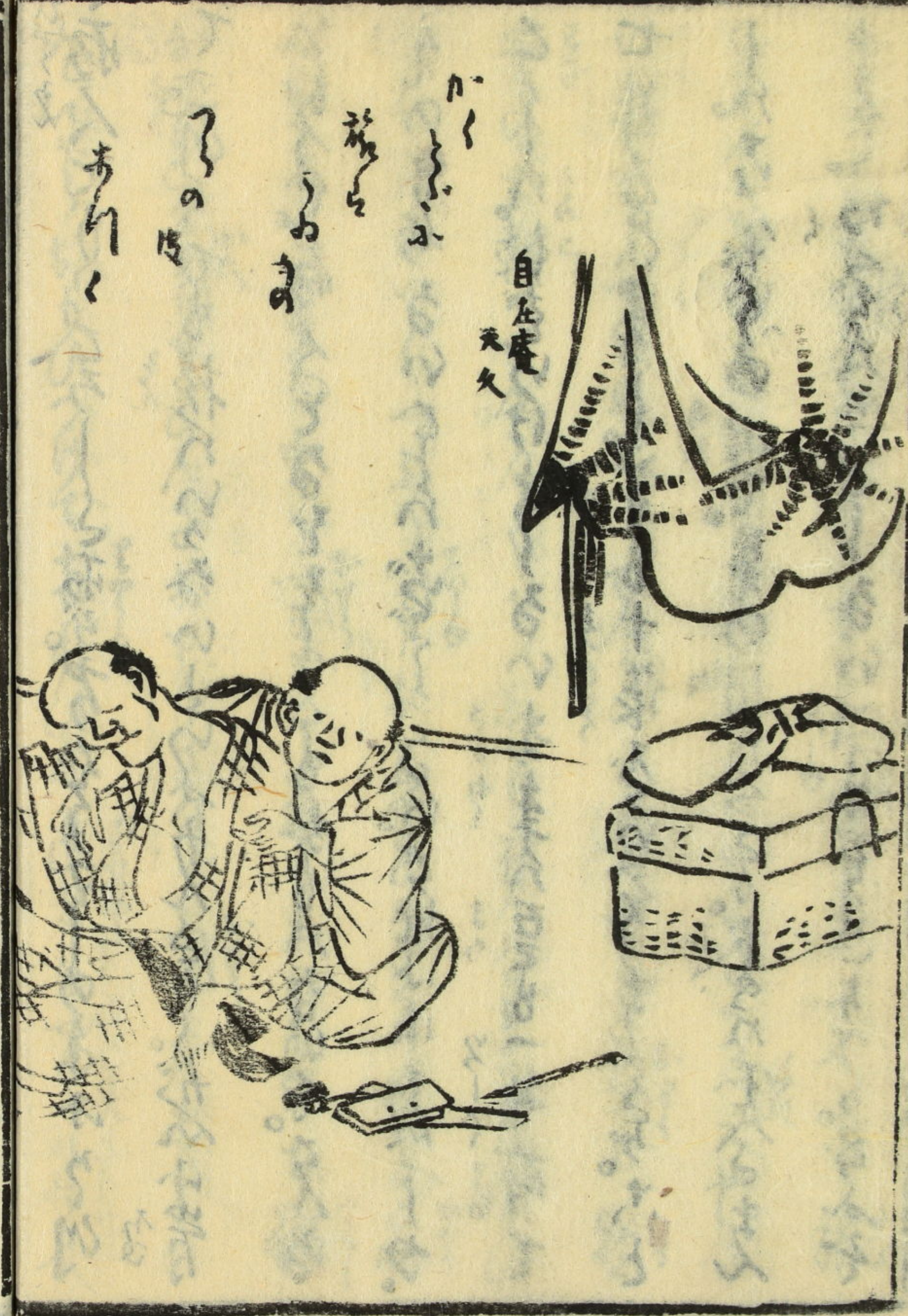






まはれ 苦学でござる 申さく 申さく 申さく 申さく 申さく 申さく  
いふ人 申さる 申さる 申さる 申さる 申さる 申さる 申さる 申さる 申さる 申さる  
のう ぞんト せぬが ぞん ぞん ぞん ぞん ぞん ぞん ぞん ぞん ぞん ぞん  
業の せ 報つて せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
る せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
人と せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
か せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
九んく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
病人 せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
て せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
と せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
こと せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
七 せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく  
せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく せんく





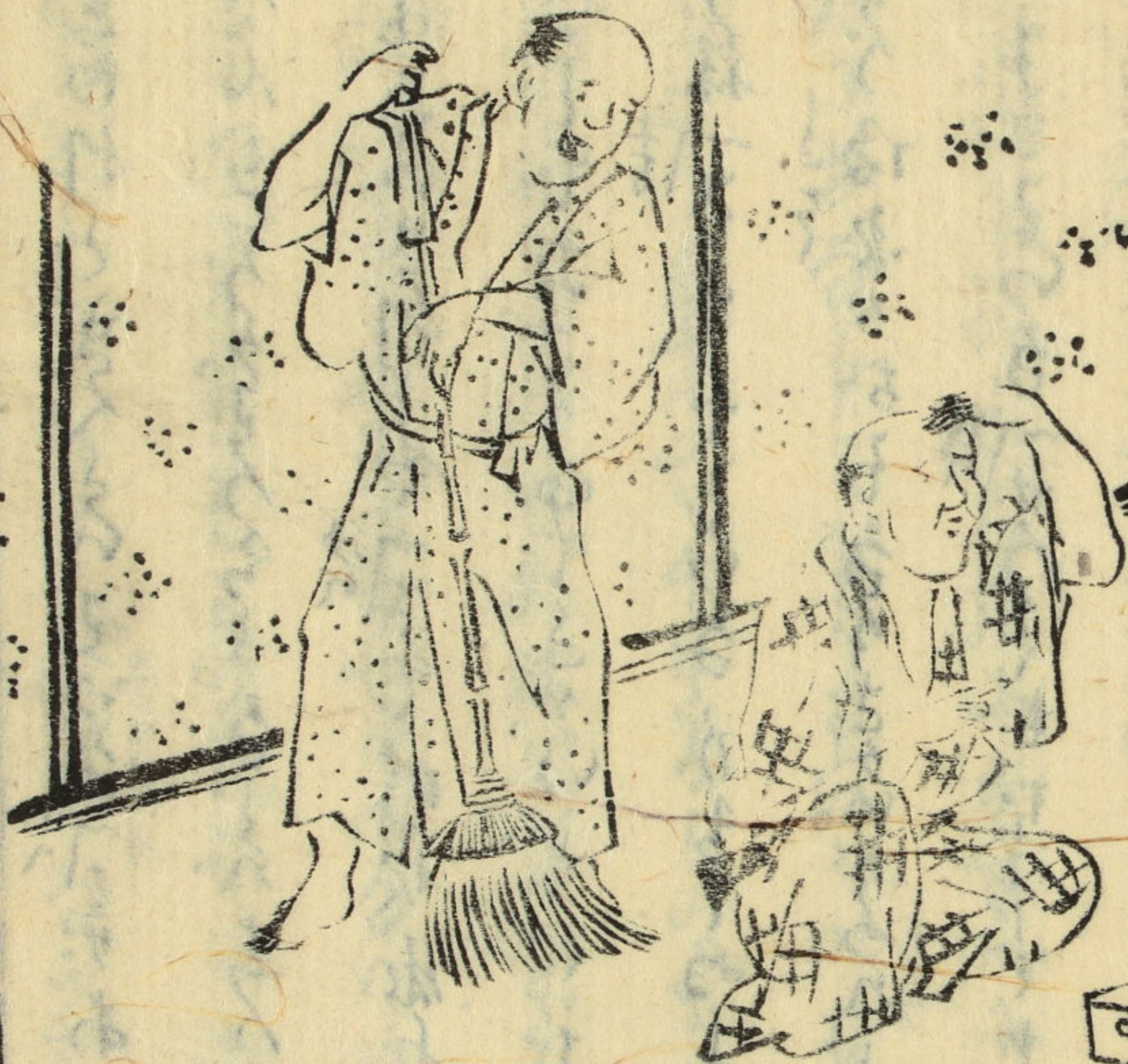






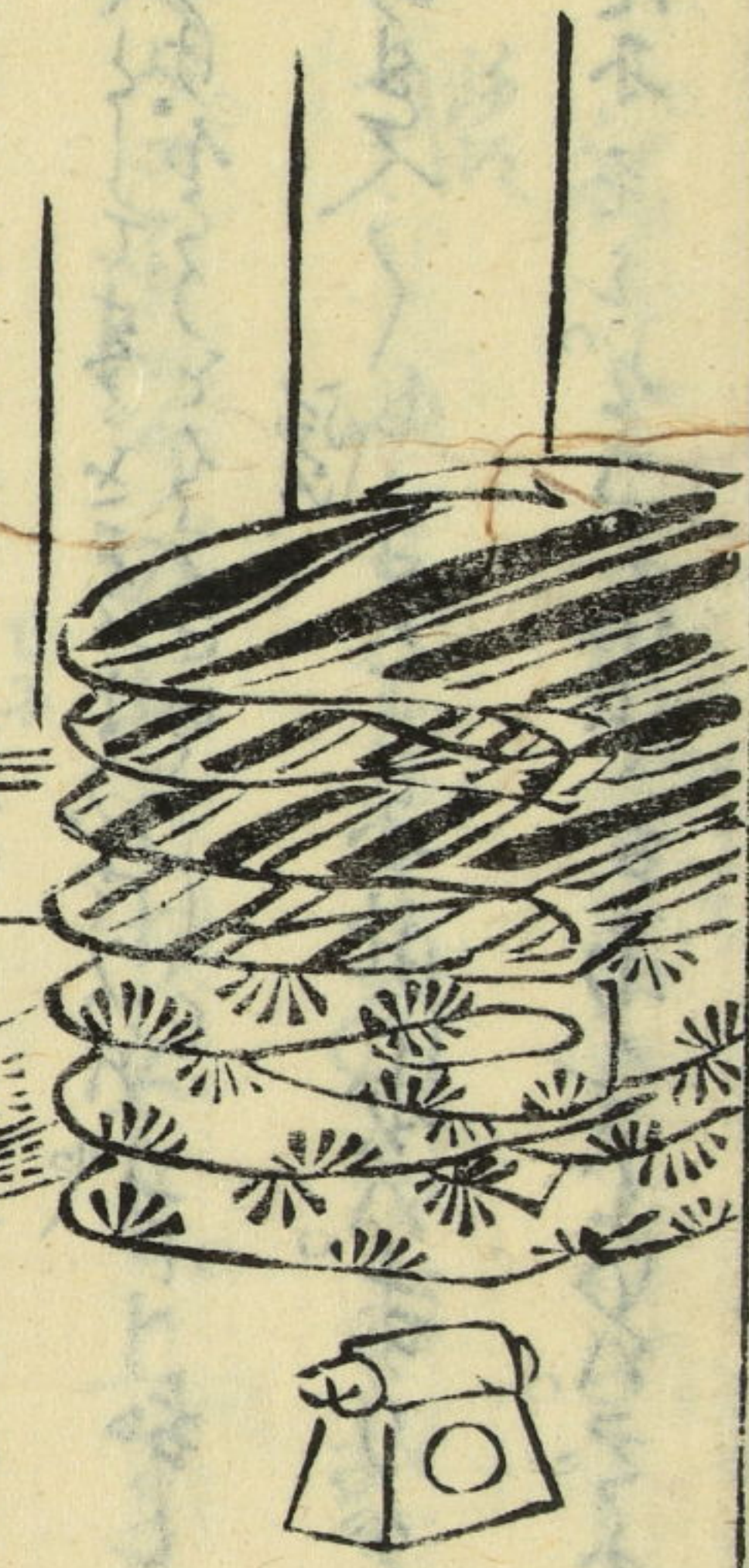
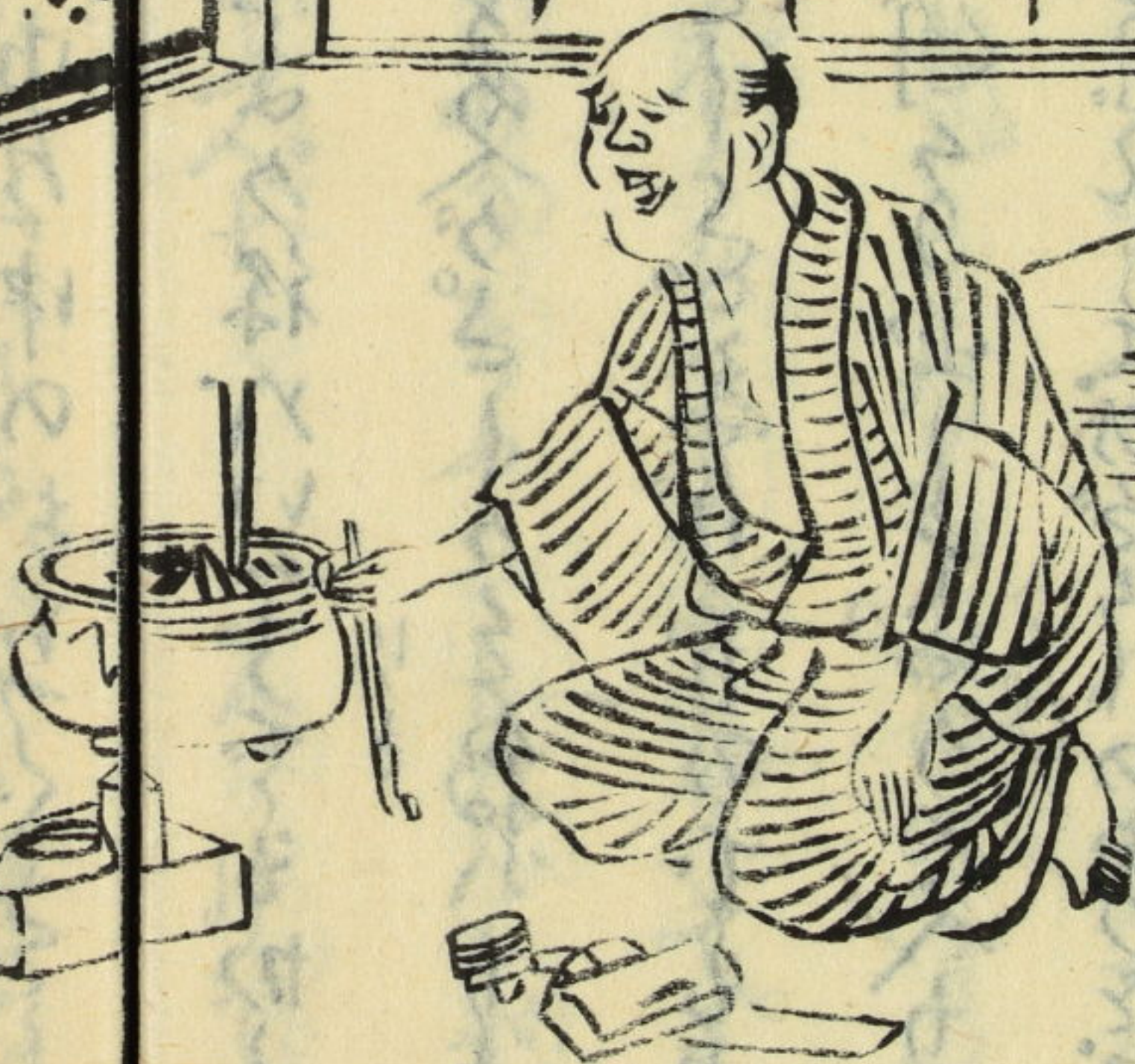


五返舎  
半九



あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち









いふはくしつまゝに移入イとあるをいふやしつらう移入イといふ

福うしつまゝに移入イといふト入申すはつてたるつてはあつた

る方てあつたと入申すはあつたイイヤア上がりのびんをうしつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

あつたのびんをうしつたあつたのびんをうしつたあつた

そふりおんや。おのりもと奥田<sup>アキタ</sup>で。おろりひ  
 中ろり〜おろり〜おろり〜おろり〜おろり〜おろり〜  
 なる。おろりひおろりひおろりひおろりひおろりひ

おろりひおろりひおろりひおろりひおろりひ  
 おろりひおろりひおろりひおろりひおろりひ  
 おろりひおろりひおろりひおろりひおろりひ  
 おろりひおろりひおろりひおろりひおろりひ  
 おろりひおろりひおろりひおろりひおろりひ

續、藤栗色十編 下冊終

